

「さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～」

1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。
- ・5月31日(金)～6月2日(日)に実施する「さんべボランティアセミナー」(以下:ボラセミ)の企画・運営に向けた話し合い活動や実習を通して、参加者同士のコミュニケーションを深めていく。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①企画編 平成31年4月20日(土)～4月21日(日) <1泊2日>
 ②本番編 令和元年5月31日(金)～6月2日(日) <2泊3日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 参加者 ①企画編 9名 募集20名
 (島根大学6名, 島根県立大学出雲キャンパス2名, 島根県立大学松江キャンパス1名)
 ②本番編 15名 募集20名
 (島根大学12名, 島根県立大学出雲キャンパス2名, 島根県立大学松江キャンパス1名)
- (4) 研修内容

①企画編

4/20 (土)	12:15		13:30	14:30		17:10	19:00	21:00	23:00
	入所 受付 昼食	実習① 「心をつなげる アイスブレイク」		実習② 「ボラセミの 話し合い①」		つどい 夕食 入浴	実習③ 「ボラセミの 話し合い②」		交流会 就寝
4/21 (日)	6:30		9:00	12:00	13:30	16:00			
	起床 つどい 掃除 朝食	実習④ 「プログラム体験 -バウムクーヘン づくり-」		昼食	実習⑤ 「ボラセミの 話し合い③」		解散		

②本番編

5/31 (金)	21:15								22:00	23:00
								受付 開講式	入浴	就寝
6/1 (土)	6:30		9:00	12:00	13:30	17:10	19:00	21:00	23:00	
	起床 つどい 掃除 朝食	講義・演習 「ボランティア活動 の意義」 「青少年教育」		昼食	プログラム体験① 「バウムクーヘン づくり」		つどい 夕食 入浴	プログラム体験② 「キャンドルの つどい」		情報 交換会 就寝
6/2 (日)	6:30		9:00	12:00	13:00	15:00		16:30		
	起床 つどい 掃除 朝食 退所点検	講義・演習 「救急救命法」		昼食	講義・演習 「青少年教育施設におけ るボランティア活動」		講義 「青少年教育施設の 現状と運営」		解散	

3 事業の内容

(1) プログラムデザインと企画のポイント

これまでに当施設で活動してきたボランティアが「先輩ボランティア」(以下:先輩ボラ)とし

て、ボラセミの企画及び事業運営の補助に当たる。先輩ボラとボラセミ参加者がつながることで、次の世代のボランティアの育成が継続して行えるように心掛けている。

(2) 運営のポイント

先輩ボラが、ボラセミ参加者への講義・演習「キャンドルのつどい」「青少年教育施設におけるボランティア活動の理解」の2コマの企画・運営を行う。また、先輩ボラは、全体の統括と各グループのグループリーダーを担う役割に分かれ、ボラセミ参加者と関わる機会を多くした。これにより、先輩ボラとボラセミ参加者との関わりを深め、当所でボランティア活動をやる意欲が高められるようにするとともに、効果的に学びを深めたり、円滑な人間関係を築けるようにした。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

(2) 参加者の声

①企画編

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満	・ 去年のボランティアセミナーが私にとってはすごく楽しくて、さんボラとして活動を継続していくきっかけとなったので、私も後輩たちに同じように思ってもらいたいと考えています。
事業全体	78	22	0	0	
プログラム	89	11	0	0	
運営	89	11	0	0	
職員の対応	89	11	0	0	

②本番編

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満	・ 初めてグループリーダーをして、不安だったけど、少しずつ班の人と話しながら仲を深めることができ、班の人たちのことを知ることができたので、やって良かったと思った。
事業全体	87	13	0	0	
プログラム	93	7	0	0	
運営	80	20	0	0	
職員の対応	100	0	0	0	

5 成果と課題

《成果》

- ・ 島根大学だけでなく、島根県立大学松江キャンパス、出雲キャンパスからの先輩ボラの参加があった。学校間の交流があることで、ボランティアを通して、交流が深まるとともに、多様な考えが生まれてくる。今回の事業でのつながりを、今後も大切にしていきたい。
- ・ ボラセミ参加者とのつながりを意識して取り組んだことで、今後の活動に対する意欲や先輩ボラとしての自覚を高めることになったとともに、自分たちの新たな課題を見つけることができた。

《課題》

- ・ 島根大学の授業時間変更に伴い、企画編を1泊2日に変更したとともに、本番編の金曜日の入所が遅くなった。限られた時間の中で、事業の目的が達成できるように事業内容を検討する必要がある。



(担当：事業推進室長 田邊 治生)